

「研修会等名称」

心理教育におけるアクティブ・ラーニング研究集会

場所：学習院大学

期間：平成27年3月17日（火）

1. 研修の内容

①チーム学習で課題に取り組む工夫 では、学生の主体性を引き出し能動的な学修への参加を促すためのアクティブ・ラーニングの方法・環境について、最新の事例や話題の報告を受けた。

特に、チームで課題に取り組む場合の工夫ポイントについては、具体的な事例に即して説明された。

また、②ファシリテータを用いた学びあい学習では、ファシリテータを用いる場合の注意点やファシリテータ自体の育成についても大きな示唆を得た。

ただ、①、②どちらも、たとえば、データの分析のタスクの後に、成果発表、といった段取りが、定まっておらず、形式先行の感はぬぐえなかった。

むしろ、たとえば、データ分析後は、分析の自己評価や分析の修正などの作業にこそ、ALの価値がでてくるように個人的には思っている。

## 2. 研修の成果

特に、

- ・ アクティブ・ラーニングが十分達成されない要因
- ・ 今後の改善点
- ・ 教育効果を判定する方法

の3点について、学生がどう課題に向き合うべきか、それをどう演出するかについて、具体的な示唆を得た。

一方、

- ・ グループ討議との実質的な違いや、PBL型のALとの違いなどに付いても考える切っ掛けを得た。特に、前者との違いは、ほとんど無いような印象を持った。

## 3. 授業への研修成果の反映状況

次年度の基礎演習科目や発想議論演習科目において、ファシリテーターロールの意識化を図った授業を行いたい。

学部長	学習・教育支援センター委員長	学習・教育支援センター委員会	名古屋教務課長	係